

大津百町瓦版

大津・町家・まちなか・いろいろ情報

春季号 [No. 43]

2020年 4月

発行 大津の町家を考える会

大津市中央1丁目8-13

TEL・FAX 077-527-3636

Email: otsu.machiya@gmail.com



これからの疏水通船

私達「びわこ疏水とさざなみの道の会」が三十年に渡り「琵琶湖疏水の通船復活」を提案し続けてきましたが多くの人々の共感と応援を頂き、昭和二六年に交通の発達で閉鎖されていたものが六七年ぶりに平成三十年に復活が実現しました。

おかげさまで平成三二年度の乗船率は九八%ということでホッとしています。現在大津側の乗船は三井寺下の第一トンネル前から京都は、蹴上のインクラインの手前まで四本のトンネルを経て下りは約一時間で八ヶを下る。そのトンネルの入口と出口は明治の元勳たちによる揮毫の重厚な扁額とデザインアーチに隅角がある。

しかし何といつても八ヶも続く樹齢百年余の山桜の並木は見事です。関西一どころか日本一の圧巻だと思います。四季折々の風景も素晴らしいが特に山科の天智天皇陵付近の風景は森閑として冥想空間の趣がある。疏水は明治の英知を集めた遺構で関心を持つて見ると一辺全が見過ごすことの出来ない遺構の集積です。二千四百メートルもある第一トンネルは長い闇と光へのドラマを覚える異空間も面白いです。

現在の通船状況でも充分堪能できるのですがさらに魅力アップスル為の課題は京都側ではインクラインの早期復活です。高低差六五〇mをコトコトと結ぶのは大きな目玉です。大津側では鹿関橋と北国橋の間にある閘門を開閉させ琵琶湖の入口三保ヶ崎に三高ボート部艇庫上に大津側の乗船場と願っています。木造の明治風のオシヤレのものと。ここはまた琵琶湖への出発の地でもあります。京阪浜大津港では疏水は明治のコンセプトの意味から言っても似合わないでしょう。

現在通船には明治号、平成号、令和号の三隻ありますが京都と滋賀の創出の為には一〇隻の船は必要かと思えます。そして琵琶湖疏水は世界遺産に値するものです。市民の盛り上げで日本遺産から世界遺産をめざしたいものです。

【日本画家 鈴木靖将】